



SAP Ariba 

機能の概要

請求書照合 – エンリッチメントおよび検証

Ajain Kuzhimattathil, SAP Ariba
一般提供予定: 2018 年 6 月

CONFIDENTIAL

 SAP Run Simple



実装の難易度

ハイタッチ

関連する地域

グローバル

機能の概要

新機能: 請求書照合 - エンリッチメントおよび検証

お客様の課題

買掛金管理部門にはさまざまな請求書検証ルールがあり、請求書照合処理の一部として外部システムを介して請求書データをエンリッチする必要がたびたび生じます。それらのすべてを SAP Ariba Buying and Invoicing または SAP Ariba 請求書ソリューションで設定できるとは限りません。現在は、SAP Ariba ソリューション以外で必要とされる検証とデータエンリッチメントは手動で行う必要があるため、間違いが起こりがちです。これにより、請求書処理に費やされる FTE が増加し、請求書決済が遅延して、早期支払割引の機会を逸することがたびたび発生します。

ソリューション領域

SAP Ariba Buying and Invoicing
SAP Ariba Invoice Management

SAP Ariba で この課題に対応

SAP Ariba では、Invoice Reconciliation Enrichment and Validation API (請求書照合エンリッチメントおよび検証 API) を使用して、外部システムからのすべての請求書検証とエンリッチメントを 1 つのソリューションに統合する機会が提供されます。Enrich and Validate API (エンリッチおよび検証 API) は、顧客のワークフローに柔軟に対応できるように開発されており、SAP Ariba での請求書照合の作成時、承認者による請求書照合の編集時、または請求書承認プロセスの終了時に SAP Ariba ソリューションから開始することができます。

実装に関する情報

この機能は、通常の設定で「オフ」になっています。この機能を有効化するには、この機能をオンにするようサービスリクエストを提出してください。この機能を使用するには、以下のパラメータを設定する必要があります。

- Application.Procure.ValidateEnrich.Invoice.AllowEnrichment
- Application.Procure.ValidateEnrich.Invoice.AllowValidation
- Application.Procure.ValidateEnrich.FieldNameToTriggerProcessApprovableExternallyEvent (オプション)

実現される主なメリット

請求書の検証とエンリッチメントを統合することで、請求書処理が高速化し、決済エラーが削減されます。最終的には、早期支払割引による正のキャッシュフローとなり、請求書処理における FTE が削減されます。

前提条件および制限事項

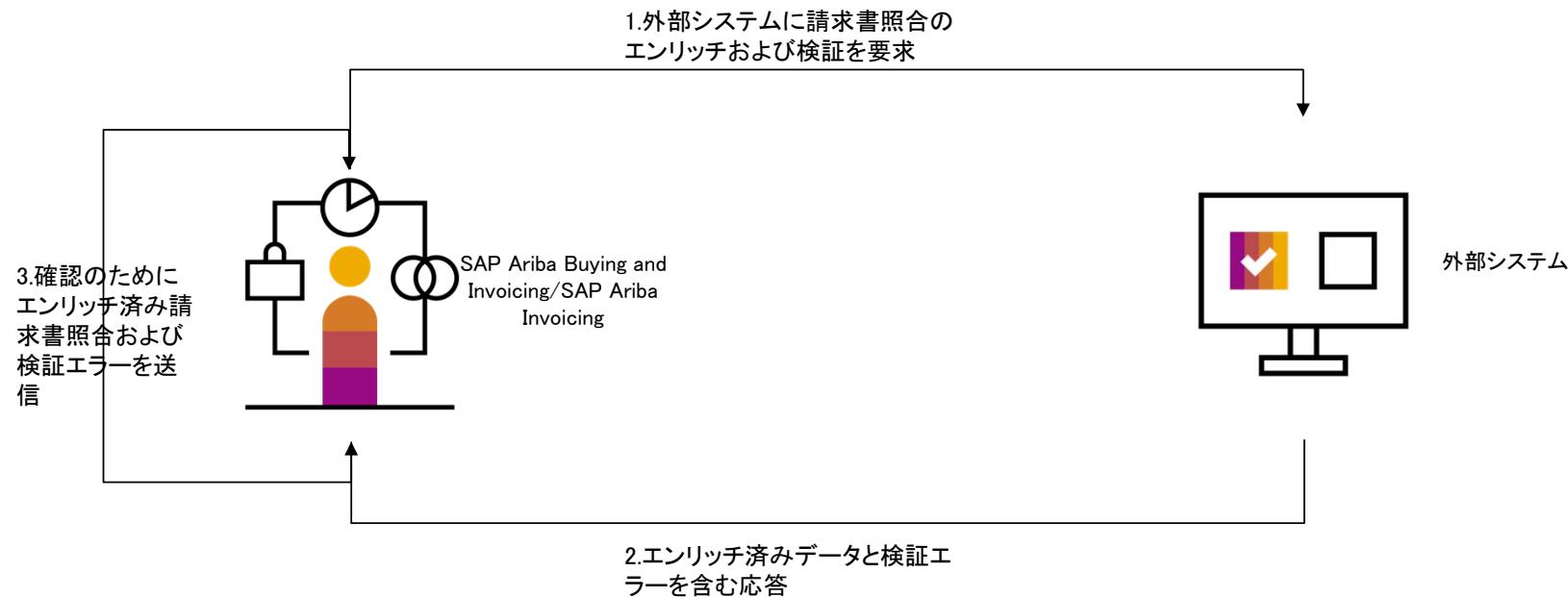
なし

機能の概要

新機能: 請求書照合 – エンリッチメントおよび検証

詳細な機能情報

請求書照合のエンリッチメントおよび検証機能では、請求書の処理および承認における 1 つの組織的な視点が提供されます。Validate And Enrich API (検証およびエンリッチ API) は Ariba システムによって呼び出されます。Ariba システムは請求書照合申請の詳細を送信して、検証のために外部システムに同期 Web サービス呼び出しを行います。外部システムは、存在する場合は検証エラーを含む応答とエンリッチ済みデータを送信します。この機能は、購入申請、請求書、および契約申請の validate and enrich API (検証およびエンリッチ API) とほぼ同じです。



機能の概要

新機能: 請求書照合 - エンリッチメントおよび検証

重要な考慮事項

- データエンリッチメントの更新はバックグラウンドで行われ、ユーザーに通知されません。
- すべてのカスタムフィールドは、ヘッダーlevel、明細level、会計levelでエンリッチすることができます。
- 更新は、標準の会計フィールドに対してのみ行うことができます。
- 構文および参照整合性の問題があった場合、応答からのエンリッチ済みデータは更新されません。
- 外部システムから無効なデータが送信された場合、Ariba システムの検証でエラーが表示される場合があります。